

第 13 回 動物たちの SOS 展

を開催します



野毛山動物園では、平成 30 年 3 月 1 日 (木) から 31 日 (土) まで「第 13 回動物たちの SOS 展」を開催します。多くの野生動物が生息環境の破壊や密猟などにより、絶滅の危機に追い込まれている現状をお伝えする企画展です。

3 月 3 日 (土)・4 日 (日) は、横浜税関、WWF ジャパン等の外部団体と連携し、税関で押収された密輸品の展示や野生動物に関する様々な取組みを紹介します。野生動物の現状を知ることができる絶好の機会ですので、ぜひお越しください。



【昨年の様子】環境創造局 (左)、横浜税関 (右) のブース展示

【後援・協力機関および団体】

後援：(公社)日本動物園水族館協会

協力：横浜税関、横浜市環境創造局(政策課、環境科学研究所、動物園課 横浜市繁殖センター)
WWF ジャパン、トラフィック、カナダガン調査グループ、野生動物救護獣医師協会神奈川支部(神奈川県野生動物リハビリテーター)、横浜メダカの会 (順不同)



野毛山動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

野毛山動物園 園長 鈴木 浩 TEL045-231-1307

【参考資料】

1 イベント情報

① パネル展示

【日程】3月1日（木）～31日（土）

【内容】園内（入口付近・市電・しろくまの家）に野生動物の密輸などに関するパネルを設置します。

【協力】トラフィック

② ブース展示

横浜税関をはじめ、各ブースで取り組み事例の解説を行います。

【日程】3月3日（土）・4日（日）9：30～15：30

【場所】屋内休憩所前ひだまり広場 ※天候により中止する場合があります

協力団体	内容
横浜税関	税関で押収された密輸品を展示します。
横浜市環境創造局	【政策課、環境科学研究所】 生物多様性や横浜市の環境について紹介します。
	【動物園課 横浜市繁殖センター】 カンムリシロムク野生復帰事業やライチョウ・ミゾゴイなどの日本産野生動物の保全活動の紹介を通じた繁殖センターの活動を紹介します。
WWF ジャパン	ポスター展示：「暖かな危機」「横浜市の子どもたちの環境宣言」 アクティビティ：「かくれている生き物を探そう」
トラフィック	「野生動物の現状」や「世界野生生物の日」についてパネルで紹介します。
カナダガン調査グループ	シジュウカラガンとカナダガンについて紹介します。
野生動物救護獣医師協会神奈川支部(神奈川県野生動物リハビリテーター)	野鳥保護の現状についてパネルなどで紹介します。
横浜メダカの会	横浜メダカについて展示やパネルなどで紹介します。

2 野毛山動物園について

◆入園料：無料

◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

◆休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※3月26日（月）、4月2日（月）は臨時開園

◆交通：JR 根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車 徒歩 15 分、
または市営バス 89 系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ
京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩 10 分

◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>

◆住所：横浜市西区老松町 63-10

◆問合せ先：045-231-1307